

## 第40回公開講演会のご案内

主催：日本技術士会近畿本部 繊維部会

共催：日本技術士会近畿本部、日本繊維技術士センター、  
日本染色加工同業会

(演題および講師)

《演題》「高等教育と科学技術—非線形の知に寄せて」

《講師》立命館大学元総長、学校法人立命館名誉役員ほか 大南 正瑛(おおなみ まさてる)先生

### <略歴>

1931年京都市生まれ。1954年に立命館大学工学部卒業、60年に工学博士(京都大学)、専門は高温材料強度学、63年米国コロンビア大学客員研究員、91年から8年間、立命館総長・学長、2000年から4年間、京都橘女子大学(現京都橘大学)学長。現在、学校法人立命館名誉役員、広島大学経営協議会委員他。日本材料強度学会、日本材料学会、ドイツ材料試験学会(DVM)の各名誉会員、米国、カナダ、オーストラリア3大学の名誉博士。この間、文部科学省や国内外の大学評価機関の委員等。著書・論文等多数。2008年瑞宝重光章

### 《要旨》

3・11大震災は今までの自分を振り返り、今後を考えるうえで強烈な出来事でした。人知を超える自然を見つめる、私の研究の反省、多面的な専門知の統合や実践知の大切さ、知のコモンズとしての大学の役割などを痛感しています。

50年間の大学教員生活を振り返って、わたくしの研究テーマである材料の破壊と社会との係りを通して、科学技術の発見のルーツとは何か、また大学での学びがい・仕事しがいについて思うところを述べさせていただきます。

これらに通底することのひとつは、「非線形の知」だと私は思っています。それを皆さんとともに考えさせていただきます。創発、地震・火山噴火や人工物の破損・破壊等を話題にします。非線形は数式で表せば理解し易いのでそのことにも触れ、最後に寺田寅彦について思うところを述べさせていただきます。

日時：2012年1月27日(金) 13:30~16:30

場所：大阪産業創造館 6階 会議室B (大阪市中央区本町1-4-5 地下鉄中央線 堺筋本町下車)  
CPD区分A、課題6、時間3.0です

●切り取らず、このままFAXして下さい●

第40回公開(一般共通課題)講演会 参加申込書		
1月27日(金) 13:30~16:30		
○参加する ○資料のみ請求 (チェック下さい)	申込期限 1月15日	[参加費] 主催および共催会員 2,000円 上記以外 3,000円 *参加費は当日会場でお願ひします
氏名	(姓のフリガナ)	
所属(会員区分)	(現役勤務の方は社名をお願ひ)	
ご連絡先の TEL	(資料の送付先はこの欄にご記入ください)	
・お申し込みはFAXで 日本繊維技術士センター(JTCC)事務所 〒564-0062 吹田市垂水町3-7-18 (P&Mビル2F)		
・お問い合わせは電話でお願ひします TEL06-6339-1237 FAX06-6339-0337		

資料請求、および参加申し込み後欠席の場合は、資料受け取り後参加費同額をご入金下さい。

振込先：〒貯金総合口座(名義)一般社団法人 日本繊維技術士センター

(記号) 14060 (番号) 23829211